

総合特別区域の進捗に係る評価
[まちづくり等分野]

令和2年度

柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区
[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値

(4.8+4)/2=4.4

4.4

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	各主体の参画による活動の活性化	104%	5
2	新ビジネス創造と地域経済の活性化	102%	5
3	AEMSを活用した環境配慮型都市の確立	179%	5
4	先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築	66% (※)	4 (※)
5	虚弱予防活動の展開	72% (※)	5 (※)

評価指標毎の進捗の評価の平均値

(5×4+4×1+3×0+2×0+1×0)／5=4.8

4.8

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、5×0.2+4×0.1+3×0.7=3.5で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標4は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.0

(※)上記4番目の評価指標の進捗度及び評点については、当該指標が定める複数の数値目標の進捗度及び評点をそれぞれ寄与度を踏まえ平均した値を記載しているため、進捗度80%以上100%未満を4とする評点の取扱いと一致しない記載となっている。また、5番目の評価指標の進捗度及び評点については、同様の理由により、進捗度100%以上を5とする評点の取扱いと一致しない記載となっている。

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値

(3.3+3.3+3.7)/3=3.4

3.4

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

3.3

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.3

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.7

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.7

- ・各主体の参画による活動は、それぞれの分野で取り組まれている状況が確認できた。また、エネルギー関連の事業も進行していると思われる。
- ・ヘルスケア関連の取組については、コロナの影響により見通しがつかない部分もあるだろうが、制約があるなかでいかに取り組んでいけるか今後も検討と実践も継続してほしい。
- ・まちづくり分野との関連が強い都市経営分野では目標値を上回る成果を達成しており、柏の葉スマートシティ事業への展開も加速していることから、今後のさらなる進展が大いに期待できる。
- ・しかしながら、目標値を達成している数値目標の中に、前年度と比べて減少に転じているものがある。新型コロナウイルスの影響も一因と推察され、コロナ禍での取り組み継続に向けた一層の工夫が求められる。
- ・ベンチャー支援や環境分野でも進捗がみられるが、ライフノベーション分野での進捗を測れない状態が続いている。定量化できない取り組みの積み重ねが、最終年度での目標達成に結びつくよう今後の取り組みを期待したい。
- ・本件は公民学連携による柏の葉プロジェクトの一部として機能しており、一部に目標達成しえない項目があるものの、全体として十分に機能していると考えられる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.7

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(4.4+3.4+3.7 \times 2) \div 4 = 3.8$

3.8

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。